



笑顔があふれる学校 ～共育・協育、今日行く～

元木小だより

令和7年11月日

八王子市立元木小学校

校長 河野 佳子

学校評価号

学校だよりはホームページにも掲載しています。

八王子市立元木小学校 検索

保護者の皆様には、令和7年度第1回目の学校評価アンケートへのご協力いただきありがとうございました。今回もGoogleフォームを用いて実施いたしました。結果として225家庭中107家庭(約48%)にお答えいただきました。いただいたご意見やご感想を基に、更なる改善をおこなって参ります。集計結果及び今後の方針につきまして、ご報告させていただきます。12月に2回目のアンケートを実施してまいりますので、より多くのご家庭にご協力をお願いいたします。

<アンケート考察>

児童向けアンケート(5・6年生対象)		(%)				
		あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	わからない
1	先生たちは、学校の目指す具体的な学校像「笑顔あふれる学校に」をつたえていますか	32.6	44.6	17.4	5.4	
2	先生たちは、学校が目指す学校像の合言葉「笑顔あふれる学校」に向けて熱心に取り組んでいますか	38	34.8	18.5	8.7	
3	先生たちは、恩方中学校と一緒にいう取り組み(6年生の体験授業・引き渡し訓練など)に熱心に取り組んでいますか	41.3	34.8	14.1	9.8	
4	自分の大切さ、ほかの人の大切さを認め、行動することができるように先生たちは指導していますか	48.9	30.4	4.3	3.4	13
5	先生たちは、落ち着いて学習できる学級づくりに取り組んでいますか	54.3	29.3	5.4	2.3	8.7
6	先生たちは、授業において、説明、板書、話し合い活動、視聴覚機器(ICT機器)の活用などの工夫に取り組んでいますか	45.7	22.8	7.6	1.1	22.8
7	先生たちは、ペアやグループなど、友だちとのかかわりのある授業をよくおこなっていますか	58.7	30.4	3.3	2.2	5.4
8	先生たちは、いじめを起こさせない取組、発生した場合にはすぐに対応するなど、いじめを許さない学校づくりに取り組んでいますか	51.1	26.1	4.3	6.5	12
9	先生たちは、児童に学校の生活指導の目標やきまりを守るように指導していますか	52.1	27.2	3.3	3.3	14.1
10	先生たちは、児童の将来の進路や職業について指導していますか	29.3	27.2	10.9	7.6	25
11	先生たちは、学習環境の整備や清掃活動に取り組んでいますか	46.7	23.9	7.6	5.5	16.3
12	自分は、自分や友達の大切さを認め、行動することができる	63	25	2.2	0	9.8
13	自分は、すすんであいさつをすることができますか	52.2	27.2	4.3	7.6	8.7
14	自分は、すすんで学習に取り組んでいますか	27.2	45.6	12	5.4	9.8

○4については、昨年度より「わからない」や「あてはまらない」がやや増加した。今後も、児童に伝わるように学級で個々の大切さを継続的に指導していきます。

○7については、昨年度より良い回答がやや増えました。引き続きペアやグループワークなど、友だちとのかかわりのある授業を積極的に取り入れて、児童の交流を促していきます。

○8については、「あてはまる」と「ややあてはまる」で約77%となっており、いじめを許さないという教員の態度は伝わっていると考えられます。しかし、「あてはまらない」と回答をした児童がやや増えているため、今後も、「いじめを起こさせないいじめを許さない学校」をめざして取り組んでいき、児童に伝わるようにしていきます。

○10については、昨年度と同様の結果となりました。総合的な学習の時間・道徳等で職業に触れる際には、自分の将来につながるかもしれない、自分自身にかかわることであると認識させる必要があります。キャリアパスポートを活用するタイミングを考へることや中学校や高等学校の話題をするなど、児童が身近に感じやすいように具体的に伝えていきます。

○14については、「あてはまる」・「ややあてはまる」の回答がやや増加しています。今後も児童が主体的に学習に取り組めるような環境を作っていきます。

児童による業績評価(4・5・6年生対象)		(%)			
		あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
1 ①	担任の先生の教え方は分かりやすい	30	65.7	2.9	1.4
1 ②	担任の先生は、自分の学習への取り組みや努力を分かってくれる	60.7	32.9	5	1.4
2 5 4 ①	専科の先生の教え方は分かりやすい	59.2	29.3	8.5	3
2 5 4 ②	専科の先生は、自分の学習への取り組みや努力を分かってくれる	59	27.5	8.8	4.7

○1の①については、昨年度後期とほぼ変わりませんでした。今年度は「算数の基礎学力の定着」をテーマとして校内研究を行っています。算数科の更なる授業改善、学力向上に取り組んでいきます。

○2～4の②については、昨年度後期に比べ「あてはまる」が9%程度上がり、「あまりあてはまらない」が合わせて4%程度減りました。引き続き授業中の声掛けや巡回指導に力を入れ、適正に評価できるように努めていきます。

保護者アンケート		(%)				
		あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	わからない
1	学校の経営方針(学校・保護者・地域の方々の連携による「チーム元木」で「笑顔があふれる学校」に)を知っている。	87.9			12.1	
2	学校が地域との関わりや体験活動等の特色ある取組を行っている	54.2	31.8	5.7	6.8	8.4
3	本校が恩方中学校と一緒にいる取り組み(引き渡し訓練の合同開催・6年生の体験授業など)について知っている	86			14	
4	学校は、子どもたちが安心、安全に過ごせるように月1回の避難訓練や安全点検などの安全管理に取り組んでいる。	66.4	18.7	3.4	1.1	11.2
5	学校は児童が自分の大切さ、ほかの人の大切さを認め、行動することができるような教育をすすめている	42.1	31.8	10.3	3.7	12.1
6	学校は、いじめの未然防止への取組、いじめの早期発見、早期対応等いじめを許さない学校づくりに取り組んでいる	34.6	34.6	10.3	3.7	16.8
7	子どもの学級は授業や学校行事に意欲的に取り組むよう、指導が行われている。	48.6	31.8	4.5	1.1	10.3
8	授業において、説明、板書、話し合い活動、ICT機器(1人1台の学習用端末を含む)の活用などの工夫に取り組んでいる	48.6	26.2	3.4	1.1	18.7
9	学習活動に対する評価は適切・公平である	46.7	28	3.4	3.4	20.6
10	学校は、子どもたちがよりよい学校生活を送れるように、生活目標を設定したり、きまりを守ったりする指導を行っている	54.2	27.1	6.8	3.4	9.3
11	学校が、「はちおうじっ子 キャリア・パスポート」等を用いて、子どもの生き方や将来についてのキャリア教育を行っていることを知っている	74.8	14	5.7	4.2	1.3
12	学校は学習環境の整備や清掃活動に取り組んでいる	56.1	23.4	3.4	1.1	12.1
13	学校は、保護者に対して、学校だよりやホームページ等で適切に情報を提供している	72.9	22.4	1.3	1.1	2.3
14	学校は、特別支援教育(特別な支援を必要とする子どもに対しての教育)に取り組んでいる	49.5	22.4	3.4	4.1	20.6
15	学校は、家庭・地域の教育力や意見を取り入れ、教育活動の充実・改善を図っている	37.4	29.9	1.1	1.1	26.2
16	家庭では、お子さんの家庭学習にかかわっている(教えたり、取り組んでいる姿を認め励ましたりしている)	61.7	33.6	3.4	0	1.3

○1については、学校だよりや行事、保護者会で周知した結果、学校経営方針については昨年度より周知できていると考えられます。引き続き、学校だよりや行事、保護者会等で周知していきます。

○5については、道徳、学級活動、その他の教科でも、自分やほかの人を大切にして行動することができる教育をより進めていきます。

○6については、いじめの早期発見を徹底し、様々な教育活動を通して、いじめは絶対にいけないことや、人権尊重教育をより進めていきます。

○11については、キャリア教育の内容を保護者にしっかりと伝え、キャリアパスポートを活用し、家庭と連携してキャリア教育を進めていきます。

○16については、多くの家庭で、子どもたちの学習に対する支援を行っていただいていますので、今後も家庭と連携しながら学習の習慣づけに努めていきます。

保護者アンケート記述概要より

<授業について>

○学力が低すぎることに對し、どのような取り組みをしてどの程度改善したか知らせていただけると助かります。効果測定などしていますか？

→今年度は、校内で特別支援の手法を取り入れる授業づくりを研究し、朝の算数タイム、放課後算数補習の見直しを通して、計算などの基礎基本の定着に取り組んでいます。

○算数の授業を「どんどん」「しっかり」「じっくり」で子どもが選ぶようになっているが、子どもに選ばせるのではなく、その子に適した学びで学ばせるようにしたほうがいいと思う。

→算数の習熟度別のコース分けは、準備テストの点数をもとに、コース分けをしています。人数調整が必要な際に希望調査を参考にしています。児童の希望のみでコースが決まっているわけではありません。

<教員について>

○子供が先生が怖いから行きたがらない時がある。子供の事を全て信じているわけではないが、先生の怒り方を家で真似することがあります。本当だとすれば、行きたがらないのも分かります。家で子供が学校や先生の様子を話すことも理解しての先生の行動ならどうかと思う。

→児童が納得できるように丁寧に指導していきます。

○担任が親に教育について聞くくらいどうしようもないので家でサポートをしっかりとします。怒るから質問したくない、ただただ、注意するのみで褒めもしない。解決策を誘導したりもしない。日記にも返信を書くようなことを言っていたのに丸チェックのみ。やる気が失せて学校へ行く意欲がなくなっています。

○子供の話や他の保護者が子供から聞いた話を参考に、授業において子供の勉強意欲を削ぐような強権的指導を行っている教諭がいるそうです。ちょっとした間違いでも泣く程叱りつけたり廊下へ立たせる等、鼻血を出したら『あ一面倒くさい』等、学校側に相談すべきか、教育委員会に直接話すべきか、学校側では把握されているのか？

→1学期末より校長、副校長が授業の一部を行い、担任の児童への対応についても日々指導しています。子どもたちが気持ちよく過ごし、学べるように学年、管理職を中心に指導を続けていきます。

○子どもだけでは解決できないことを見極められないのか子どもたちだけで解決しろと放置しいじめなどに発展しそうな恐れがあります。先生が怒るからと質問や、伝えることができていません。家で学校の様子を聞いた際 ある生徒を無視していると言っていました。無視していないとしても子どもにそう見えているということはとても悪い環境だと思います。

○担任と目が合わない。字が小さく後ろの席では見にくい。子供達と接するなら目を見て話すは当たり前のこと。注意していることは良いことだが、ひと言多い。授業は先生の説明のみで全員参加型ではなく、個々がどこまで理解しているか等の確認なし。授業参観であれば通常授業では更に問題ありなのは。怪我にも1日気付かないことがある。体育(プールは特に)のときは1人ひとりに目配りをしてるのかどうか不安がある。

→保護者からのご意見、児童、教職員からの情報をもとに、管理職が指導しています。気になることがありましたら、いつでも管理職までご相談ください。

<学校生活について>

○課外学習等の経過写真の掲載がしつこくて、うんざりした。全体には「行っている」と分かる写真だけで良い。該当学年だけにしつこいくらい見せて良いのでは。何事かと開くたびに「またか」となりました。

→該当学年にはこまめに配信し、学校全体には、概要が分かるようにかいつまんで配信します。

○タブレットを充電のために持ち帰るのは重くてかわいそうなので、充電器を購入し、学校で充電できないか。令和7年度ではないが、昨年度、夏休みの宿題が多かった。子どものうちしか経験できないことや、遊ぶことも大切だと思う。自由研究もやらされてやるのは意味がないので、宿題として出す必要はないと思う。

→充電は学校の保管庫で行っていますが、家庭学習用には持ち帰っています。また、低学年は、荷物の多い週末の持ち帰りは行っていません。夏休みの課題の内容については、各学年の状況を把握して見直す点があれば、見直していきます。

○現状が悪いというわけでは一切ありませんが、一年生は、児童の人数や授業の様子から担任の先生への負担や学習効果を考えると、やはり2クラスで運営するべき状況だと改めて感じました。

→2学級になった場合、担任が配置されないことが確定していましたので、1学級の決断をしました。担任補助や学校サポーターの補助を入れたり、校内で担任の負担軽減のサポートをしたりしながら学校運営をすすめています。

<生活指導について>

○暴言、暴力が目立つ児童がおり恐怖に感じている。1クラスで人数も多いので先生方も大変だと思う。他の生徒と一緒に年齢相当の事ができないのなら保護者が適切な対応をとるようにすべき。

→学級補佐や学校サポーターなどの複数の大人での指導、座席の工夫、保護者との連携、別室でのクールダウンなど学校全体で引き続き対応していきます。

○去年度から続き、暴言がひどい生徒がおり安心安全な環境とは言えない。授業中に立ち歩くなどして落ち着きのない児童もおり集中したい子達の妨げになっている。保護者と共有し適切な対応をしてほしい。

○トラブルがあった時に関係のあった保護者にきちんと説明があったのか不安。被害者の保護者への説明のみで子供どううして解決してるからと納得させられるところがある気がして少しもやもやします。

→学校と保護者で情報共有し、連携して指導していきます。